

令和3年度

第9回大分県教育委員会 議事録

日 時 令和3年8月6日(金)
開会13時35分 閉会14時25分

場 所 教育委員室

令和3年度
第9回大分県教育委員会

【議 事】

(1) 議 案

第1号議案 教職員の懲戒処分について

第2号議案 大分県立学校いじめ対策委員会委員の任命について

(2) 報 告

① 0-Labo における STEAM 教育の取組について

(3) 協 議

① 大分県立歴史博物館協議会委員の任命について

(4) その他

【内 容】

1 出席者

教育長	岡 本 天津男
委 員 (教育長職務代理者)	林 浩 昭
委 員	岩 崎 哲 朗
委 員	高 橋 幹 雄
委 員	鈴 木 恵

事務局 教育次長	渡 辺 登
教育次長	久保田 圭 二
教育次長	米 持 武 彦
参事監兼学校安全・安心支援課長	簗 田 祐 二
教育改革・企画課長	重 親 龍 志
教育人事課長	大 和 孝 司
高校教育課長	三 浦 一 雄
社会教育課長	後 藤 秀 徳
文化課長	森 健 治
教育改革・企画課 主幹 (総括)	門 野 秀 一
教育改革・企画課 主査	末 松 敬 雅

2 欠席者

委 員	岩 武 茂 代
-----	---------

3 傍聴人

1 名

開会・点呼

(岡本教育長)

委員の出席確認をいたします。

本日は、岩武委員が所用のため欠席です。

なお、新型コロナウイルス感染防止の観点から、議題ごとに、関係課長のみ入室しますので、よろしくお願いします。

(岡本教育長)

それでは、ただ今から、令和3年度第9回教育委員会会議を開催します。

署名委員指名

(岡本教育長)

本日の議事録の署名については、岩崎委員にお願いします。

会期の決定

(岡本教育長)

本日の会議はお手元の次第のとおりです。会議の終了は14時25分を予定していますので、よろしくお願いします。

議 事

(岡本教育長)

始めに、会議は原則として公開することとなっていますが、第1号議案、第2号議案及び協議①については、人事に関する案件ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により、これを公開しないことについて、委員の皆さんにお諮りいたします。

賛成の委員は挙手をお願いします。

(採 決)

(岡本教育長)

第1号議案、第2号議案及び協議①については、非公開といたします。

(岡本教育長)

本日の議事進行は、始めに公開による議事を行い、次に非公開による議事を行います。

【報 告】

① 0-Labo における STEAM 教育の取組について

(2 課〔教育改革・企画課、社会教育課〕入室)

(岡本教育長)

それでは、それでは、報告第 1 号「0-Labo における STEAM 教育の取組について」社会教育課長から説明をしてください。

(後藤社会教育課長)

令和 3 年度子ども科学体験推進事業について、報告します。

体験型子ども科学館「0-Labo」は、子どもの科学に関する興味・関心や探究心を育むために平成 22 年に設置され、今年で 12 年目を迎えました。

この間、延べ 5 万人余りの県民に対し、科学技術やものづくりに触れる機会の提供をするとともに、理数系人材の育成や将来の自己実現を支える取組を実践してきました。本日は、令和 3 年度の「0-Labo」の取組について、説明します。

資料上段、「1. 事業の成果・拡大」をご覧ください。

右側のグラフからもわかりますように、「0-Labo」の参加者数は、年々増加傾向にあります。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、定員の制限や保護者参加の制限をしたことなどの影響がありますが、参加児童数は平成 22 年度比で 3.7 倍増加しています。ご協力いただく講師や団体数についても、「0-Labo」の所管が知事部局の工業振興課から社会教育課へ移管された平成 24 年度と比較しても倍以上増加しており、多彩な講師陣による多様な講座展開が現在の「0-Labo」の強みになっています。

昨年度からは、地方会場を拠点とした講座である「サテライトラボ」を設置しており、年次進行で全県下に講座を展開しているところです。地方拠点の拡大とともに各地域の高等学校との連携も進めています。各高校の科学部等の生徒が講師となり、地域の小学生に科学体験を提供しています。毎回、かなりの人気講座となっており、定員の倍以上の応募があることもめずらしくありません。今年度は、14 校の協力を得て講座を実施しています。ちなみに、先週末は、海洋科学高校の実習船「翔洋丸」に乗船し洋上で講座を実施しました。また、2 日の月曜日には、三重総合高校を会場に講座を実施しました。

資料中段、「2. 講座の全容」をご覧ください。

今年度は、年間 169 日の講座を予定しております。令和 2 年度は大分会場で

実施される通常講座の平均倍率が3倍を超え、最も参加希望の多い会場となりました。応募数の多かった10講座については、フォローアップ講座として、後日、同じ講座を落選者対象に実施します。また、特別講座として3つの講座を実施します。

今年度の新規講座である「STEAMラボ」及び「WEBラボ」については、後ほど説明します。「アドバンストラボ」は、ドローンとプログラミングに特化した講座であり、大分市の株式会社オーイーシーや情報科学高校と連携した、中学生向けの講座となっています。「スペースラボ」は、来年2月に開催予定の「第33回宇宙技術および科学の国際シンポジウム（ISTS）大分府大会」への気運醸成を目指し、子どもたちに宇宙について興味を持ってもらう講座を実施します。地方会場においては、「サテライトラボ」の各教室で10講座を実施します。また、「ネイチャーラボ」では、香々地・九重青少年の家の施設を活用し、夜の星空観察等の講座を実施します。

【講座の様子を2枚の写真で紹介】

続いて、今年度の新規講座として開設しました「WEBラボ」について説明します。これは、小学校低学年を対象に、自宅にある材料を使い、動画を視聴しながら科学体験を楽しむことができる講座です。実際の動画をご覧ください。

【「WEBラボ」動画（1分間）】

新しい生活様式に対応するとともに、これまで「O-Labo」での受講が難しかった子どもたちに、科学体験を届ける取組として進めていきたいと考えております。

【「WEBラボの日」を写真で紹介】

最後に、資料下段、「3. STEAMラボの概要」をご覧ください。

今年度の新規講座であり、学びのSTEAM化を踏まえた専門的・先進的科学技術を学ぶシリーズ講座として実施します。「科学の進展と宇宙開発について～月移住計画～」をテーマに、受講生が実際に月に移住することを想定し、最新の科学や宇宙開発の最前線の知識を学びながら、立ちはだかる課題を解決していくプログラムとなっています。8月3日から予定しておりました県外派遣講座については、残念ながら、訪問地の北海道で新型コロナウイルス感染症が急拡大したため中止しましたが、株式会社植松電機の社長である植松努氏のオンライン講演会を実施し、失敗を恐れずに挑戦することの大切さ、「思うは招く。夢があればなんでもできる。」という植松社長のスピリットを学ぶことができました。

今後、実際の月での生活を想定し、どのような課題があるかを考え、その解決方法のいくつかを実際に実験で試しながら、創造が想像を超える、クリエイションがイマジネーションを超える結末を目指して取組を進めていきます。

説明は、以上です。

(岡本教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(高橋委員)

令和元年と比べると、参加人数が若干減っているけれど内容は増えており、定員の3倍くらいの申込みがあるとの報告でした。感染症対策をしながらも参加者が増えているということは、やはり内容がよいということだと思います。申込者が多いという現状に対して、会場のスペース的には、まだゆとりがあるのですか。

(後藤社会教育課長)

昨年度、施設を移転し、16人から35人に教室の定員が増えました。最大で40名程度までは受講できます。ただ、受講生以外に、その保護者やきょうだいの子どもが周りで見ている状況も生まれます。むしろ、保護者の方が夢中になって聞いているということもよくあります。そういったスペースも考えると、現行の定員で何とか今後も講座を実施していきたいと考えています。

(高橋委員)

安心しました。今は、いろいろな講演会もフィジカルディスタンスをとりながらの実施になっています。その結果、定員の半分での実施ということも多いです。できるだけ、希望する子どもたちが参加できる体制を保持してもらえようお願いします。

(後藤社会教育課長)

できるだけ、多くの子どもたちが参加できるように、抽選方法も工夫しながら、体制を整えて実施していきます。

(岩崎委員)

人数の制限があると思いますが、だいたい1日に何回くらいの講座をするのですか。

(後藤社会教育課長)

講師の先生と相談しながらにはなりますが、基本は午前・午後1回ずつの講座になります。ただ、無理をお願いして3回実施していただくことも、応募数が多いときにはあります。

(鈴木委員)

希望者がとても多く、なかなか抽選に当たらないような状況があります。また、豊後大野市のような周辺地域から大分市へは保護者が連れていかなければならないという状況もあります。ただ、居住する地域で実施されるのであれば参加できるという方もたくさんいます。近所の高校で実施してもらえると、なかなか入る機会のない高校の中に入ることもでき、また、高校生が講師をしてくれるのがとても良いです。

三重総合高校で実施されたときは、小学生の保護者の方々が、三重総合高校の

生徒がとても良い生徒だということに感動する場面もありました。先生役の生徒も、将来学校の先生になりたいといった希望を持つようになるなど、参加者・実施者双方にとって良い取組になっています。講座の数も増えていきますし、これから参加希望者が益々増えていくのではないかと思います。

また、参加している子どもたちの感想なども何かの形で届けてもらえるとよいと思います。参加した子どもたちにとって、本当に素晴らしい経験になると思いますので、ぜひ多くの子どもたちに機会を提供してあげられるようお願いいたします。

(後藤社会教育課長)

ありがとうございます。鈴木委員には実際に「サテライトラボ」の視察に来ていただきましたが、他の委員の皆さまも、ぜひ視察の機会があればお越しいただけますと幸いです。

(高橋委員)

今日の説明で、三重総合高校での「サテライトラボ」の様子はよくわかりました。次回はぜひ、他の「サテライトラボ」の様子について、写真等を交えて説明してください。

(岡本教育長)

では、またその様子も報告をお願いします。

(林委員)

大学の先生やいろいろな人がやってきて、子どもたちの知的好奇心をくすぐっており、とても良いと思います。最近、子どもが発見した新しい課題が実はとても重要な科学の発見であったということもありました。そういう意味で、子どもたちの自由研究が大学の先生と共同の研究となるような、または、子どもたちがアドバイスをもらえるような、そういった仕組みができないでしょうか。

(後藤社会教育課長)

「0-Labo」には、何度も何度もエントリーし、参加をしてくれる子どもたちがいます。今後、地方にも拡大していけば、さらにそういう子どもたちが増えていくのではないかと期待しています。その子たちを対象にして、少しレベルの高い講座を考えています。今までの興味・関心に重きを置いた講座のほかに、基礎科学の少し深いところを学ぶ講座を大学の先生にお願いしようと思っています。そして、子どもたちが高校生と一緒に学んでいくことができるような講座を作っていきたいと考えています。

(岡本教育長)

それでは、先に非公開と決定しました議事を行います。その前に、公開でその他、何かありますか。

(岡本教育長)

では、非公開の議事を行いますので、傍聴人は退出してください。

【議 案】

第1号議案 教職員の懲戒処分について

(3課〔教育改革・企画課、教育人事課、高校教育課〕入室)

(岡本教育長)

それでは、第1号議案「教職員の懲戒処分について」提案しますので、教育人事課長から説明をしてください。

(説 明)

(岡本教育長)

ただ今説明のありました議案について、審議を行います。
ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見)

(岡本教育長)

他にありませんか。

それでは、第1号議案の承認についてお諮りいたします。承認される委員は挙手をお願いします。

(採 決)

(岡本教育長)

第1号議案については、提案のとおり承認します。

第2号議案 大分県立学校いじめ対策委員会委員の任命について

(2課〔教育改革・企画課、学校安全・安心支援課〕入室)

(岡本教育長)

それでは、第2号議案「大分県立学校いじめ対策委員会委員の任命について」提案しますので、学校安全・安心支援課長から説明をしてください。

(説 明)

(岡本教育長)

ただ今説明のありました議案について、審議を行います。
ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見)

(岡本教育長)

他にありませんか。
それでは、第2号議案の承認についてお諮りいたします。承認される委員は挙手をお願いします。

(採 決)

(岡本教育長)

第2号議案については、提案のとおり承認します。

【協 議】

① 大分県立歴史博物館協議会委員の任命について

(2課〔教育改革・企画課、文化課〕入室)

(岡本教育長)

次に、協議第1号「大分県立歴史博物館協議会委員の任命について」文化課長から説明をしてください。

(説 明)

(岡本教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見)

(岡本教育長)

それでは、今回の案で準備を進めていきたいと思います。

(岡本教育長)

最後にその他、何かありますか。

それでは、これで令和3年度第9回教育委員会会議を閉会します。

ありがとうございました。